

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)	授業形式									
E1121007		声乐 (Vocal music I )															
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員											
必修	1	3	教育学部 平成31年度以前入学生用			氏名 栗栖 由美子 E-mail ykurisu@oita-u.ac.jp 内線 7617											
授業の概要	身体の構造と機能にもとづく発声法を理解し、中学校歌唱教材において歌唱技術を高めるとともに、歌唱における専門的知識と基礎的な指導法を習得します。																
具体的な到達目標						DP等の対応(別表参照)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
目標1 身体の構造と機能にもとづく発声法を理解する。																	
目標2 「浜辺の歌」と「赤とんぼ」の範唱ができる。																	
目標3 「浜辺の歌」と「赤とんぼ」における弾き歌いの技術を習得する。																	
目標4 「浜辺の歌」と「赤とんぼ」における指導法を理解し、場面指導ができる。																	
目標5																	
目標6																	
目標7																	
目標8																	
目標9																	
目標10																	
授業の内容																	
1 授業ガイダンス																	
2 発声のメカニズム、姿勢と呼吸法																	
3 発音について(母音と子音の扱い方)																	
4 「浜辺の歌」について																	
5 「浜辺の歌」における歌唱法(1) 8分の6拍子のとらえ方とフレーズ感																	
6 「浜辺の歌」における歌唱法(2) 歌詞の内容と強弱の変化																	
7 「浜辺の歌」における歌唱法(3) 日本語の美しい響きを生かした表現																	
8 「浜辺の歌」を用いての弾き歌い																	
9 「浜辺の歌」を用いての場面指導																	
10 「赤とんぼ」について																	
11 「赤とんぼ」における歌唱法(1) 旋律と言葉の関係																	
12 「赤とんぼ」における歌唱法(2) 跳躍音の扱い方																	
13 「赤とんぼ」における歌唱法(3) 日本語の美しい響きを生かした表現																	
14 「赤とんぼ」を用いての弾き歌い																	
15 「赤とんぼ」を用いての場面指導																	
ラーニング	A:知識の定着・確認	教材研究、演奏発表、相互評価					工夫	その他の									
	B:意見の表現・交換																
	C:応用志向																
	D:知識の活用・創造																
時間外学習の内容と時間の目安	準備	指定曲の事前練習・教材研究(15h)、場面指導のための事前準備(5h)															
	事後	授業で扱った曲の復習(15h)															
教科書	教育芸術社『中学生の音楽1』、『中学生の音楽2・3上』、『中学生の音楽2・3下』																
参考書	『中学校学習指導要領解説 音楽編』																
成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10					
	授業への参加度(授業への取り組み、場面指導、実技等)	40%															
	最終実技試験	60%															
注意事項	各自、発声練習をしてから受講してください。																
備考	・個人レッスンの形態をとりますが、毎回、公開レッスンとし、他学生の歌唱や弾き歌い、場面指導に対して、コメントする時間を設けます。 ・歌唱技術のレベルによっては、曲目を変更する場合があります。また、早く進めた場合は、教材を追加します。																
リンク	URL																